

2020年(令和2年)7月15日(水)第3回例会(通算2877回)

国際ロータリー第2580地区



石垣ロータリークラブ週報

会長：森田 安高 副会長：黒島 剛 幹事：東上里 広和 副幹事：吉田 貴紀

今月のロータリーレート 1\$¥107



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度RIテーマ

RI会長：ホルガー・クナーク

地区ガバナー：野生司 義光氏

創立年月日：1962年3月12日 今年度創立60周年

2020-21年度 ◆クラブテーマ◆ 【心機一転】

クラブキャッチコピー：島のリズムで伝える平和と奉仕のくるくる(心)

☆地区年次目標☆

「会員増強」

「公共イメージの向上」

「ロータリーデーの開催」



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなの為になるかどうか



シリーズ：森の名人・戸眞伊さんと森の木「ユカルピトウヌキャンギ」

石垣方言：ユカルピトウヌキャンギ 和名：ナギ

なぜ、ユカルピトウ=役人、キャンギ=イヌマキ(高級木)と呼ばれる木になったのか・・・

琉球王朝時代、イヌマキは高級木で王家の家や城の材木として使用され、八重山からも献上していましたが、数も少なくなり、困った島民は角材として製材したイヌマキの中に質が似ていたナギを混ぜ込み、王府へ献上した所、1本ずつ検品しているはずの王府もナギが混ざっている事に気づかない程の上質な木であった事から“役人が認めたイヌマキ”として、ユカルピトウヌキャンギと呼ばれる木となりました。



7月8日(水)例会報告

《司会進行：吉田 貴紀》

ロータリーソング：四つのテスト

ソングリーダー：今西 敦之

メイクアップ：宮良 榮子

会員総数	47名
出席義務会員	46名
出席数	30名
欠席数	16名
出席率	65.21%
通算出席率(6月)	68.12%

★7月のプログラム

7/15(水) ガバナー補佐・分区幹事訪問

7/22(水)休会

例会日 水曜日 12:30~13:30

例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311

事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町1-1-4

TEL/FAX(0980)83-2917

URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>

E-mail ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp

◆ 会長挨拶: 森田安高 ◆



皆さんもご存じだと思いますが、今日、沖縄県中部地区で69日ぶりにコロナの患者が出たということで40代の男性でまた米軍基地でも何名か出ています。そこに出入りしていたかどうかという詳細は追跡中ということを県の方から発表がありました。今年度の石垣RCの組織図の中に危機管理委員会という形をとらせていただきました。クラブ例会の中で何かがあった場合にロータリー全体のイメージに繋がる事になりますので、ロータリーから絶対に出してはいけないということで特別に危機管理委員会をつくりました。委員長には橋本前会長がいますが、前年度の幹事と次年度の会長幹事に副委員長と委員に任命しております。皆さんにこういう説明がなくてどういう組織図になっているのかと疑問に思う方もいらっしゃると思いますが、今回は特別にこういう形をとらせていただきました。また、60周年記念事業のほうに至っても組織図の中に落としこんでいます。前回の理事会で会員からの意見をくみ取ってこういう形をとらせていただいています。先週はクラブテーマに「心機一転」ということを伝えました。クラブキャッチコピーには昨年、地区の方から各クラブのキャッチコピーをということがありましたので、これを毎回の週報に入れ込んで皆さんにお知らせしていきたいと思っています。皆さんも何処かへ行く際には、石垣RCのキャッチコピー「島のリズムで伝える平和と奉仕くる(心)」というキャッチコピーをぜひ覚えていろんな会合で発表して欲しいなと思います。今日は、決算報告と各委員長の今年度の活動報告の発表がありますので、どうぞよろしく願います。

◆ 幹事報告: 東上里和広 ◆

ロータリー文庫から当クラブのHPにロータリー文庫のリンクを貼っていただきたいとのお願いがきております。会員の皆さんがロータリー文庫にアクセスして過去の資料、ロータリーの友やガバナー月信等の資料を自由に見られるようになるサイトです。このHPにアクセスする方法はSlackに上げています。パスワードとユーザー名は記載されていますので、ぜひHPにアクセスしてご覧になってみてください。方法が分からない部分がありましたら私のほうでお手伝いさせていただきますのでお声かけください。第19回ロータリー全国囲碁大会のご案内が届いております。2020年10/3(土)9:30受付、囲碁に興味がある会員の皆様は事務局までお申し込みをお願いします。東京江北RCよりビジターの受入れを自粛させていただく旨の

ご案内が届いております。当クラブでも東京地区からいらっしゃるビジターの受入れを自粛していただいている状態ですので、こちらから各クラブにビジターとして参加する場合も事務局のほうに問い合わせをして、各クラブの状況がどういった形になっているか事前にお調べの上、ご参加をお願いします。

◆ クラブ協議会 ◆ ---各委員会からの活動報---

会場監督(SAA)・出席委員会 委員長: 吉田貴紀

副委員長: 新垣精二 委員: 我那覇宗善 砂川和徳

大本綾子 玉城力 本年度は60周年の大きな事業があるということで私どもSAA委員会は出席率100%に高めながら例会をしっかりと盛り上げていけるような委員会にしていきたいと思っています。活動計画につきましては6項目ございます。1.ソーシャルディスタンスに配慮した例会開催に努めます。2.会員が楽しめる例会を心がけ、出席率100%を目指します。3.開会・閉会時間を厳守し、スムーズな司会進行を心がけます。4.会場監督(SAA)・出席委員会メンバーへ適時適切な役割分担を心がけ、委員会のチームワークを育みます。5.会長・幹事や他クラブとの連携強化、情報共有を図り、会員へ適時適切な情報提供の機会を例会にて構築します。6.60周年事業実行委員会との協力関係の構築、周年事業成功へ向けた協力を努めます。私も仕事上、森田会長の事務所の隣に引っ越して参りました。仕事もロータリーも一生懸命、森田会長を支えて参りたいと思います。

プログラム・親睦委員会 委員長: 大田次男 副委員長: 宮良薫 委員: 小林昌道 漢那憲隆 西表浩司 宮脇秀至

今年度は60周年の周年事業があるという事と会長の方針であります「心機一転」を意識する事と併せて、新型コロナウイルスの感染防止も考慮しつつ、これまで行われて来た、会員相互のつながりを大切にするプログラム内容を踏襲する事とします。また、今年度はクラブ設立60周年を迎えるにあたり60周年事業実行委員会と連携していきたいと思っております。例会パターンとしては、新入会員が増えたということであるべく全会員に新入会員が溶け込める、馴染んでいけますようにということで会員卓話に新入会員を優先いたしますが、例会開催が概ね1年間で35回ありますのでその内の10回程度、会員卓話をお願いしたいと思います。①会員卓話(会員による各社の紹介等。新入会員を優先)②ゲスト卓話(地域のキーマンや多様な職業人)③夜間例会(深睦を目的にした趣向を凝らした懇親会)④職業奉仕委員会と連携した職場訪問(年2回程度)

情報・広報委員会 委員長: 山下暢 副委員長: 櫻井浩一 松林豊 大城文博

1.週報の表紙について、八重山の自然、特に、島木材について改めて触れてみたいと考えます。農作機、サバニ、織機など、島人が知恵と経験を活かし、用途に合った島木を活用して作られた手仕事道具の数々。島木を宝とし、未来へ継承していく為に、木工職人の戸眞伊先生に教えを請い、その知識と経験から得たそれぞれの島木の魅力を

ご紹介致してまいります。先週から既に始まっておりますが、第1回目は戸真尹先生とはどういう方かということから始めさせて頂いて2週目からは木についてを説明させて頂きます。先日も65周年記念の展示会をされておりました。せっかくそういった方がいらっしゃいますのでその方にお話しをお伺いして約60種類以上の木を扱っていますのでその中の何種類かでも勉強したいと思って特集を組んでいますのでぜひご覧頂きたいと思います。2.新入会員へのサポートやオリエンテーションにより、クラブ理解を深めて頂きたいと思います。3.クラブのフェイスブックへの掲載・情報発信を増やし、石垣RCの活動内容の露出度を高めてまいります。4.クラブのホームページに訪れて頂く方を増やしていくことにより石垣RCの認知度を上げてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

会員増強委員会 委員:新賢次氏 委員長:宮良幸男

副委員長:宮城早人 委員:米盛博和 宮良榮子

心機一転ということで皆さんこれからもよろしくお願いいたします。委員長、副委員長が欠席しておりますので、私の方から会員増強委員会の活動計画を読み上げます。1.厳しい経済状況が続く中、退会防止に努める。2.クラブ会員数を50名と目標を掲げ、各委員会が候補者の推薦を認識し会員増強に繋げるよう努める。現在の会員数は47名ということになりますのであと3名の増強ということになります。ここ4、5年会員が増え続けておりますので、この調子でいけば50名の目標は達成する可能性は高いのではないかと考えておりますが、会員の皆さんのご協力を得て、会員増強委員会も活動していきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

職業奉仕委員会 委員長:前原博一 副委員長:上原晃子

委員:上原秀政 伊盛米俊 職業奉仕委員会の委員長を今年で3回目となりますが、心機一転頑張っていきたいと思

います。1.各会員の職業・職場の理解を深めるため年2回の職場訪問の実施。2.ロータリー財団地区補助金の申請を行う。3.「職業奉仕」について各委員の互いの理解を共有するため定期的に委員会を開催する。交流を深めて一年間精一杯頑張っていきたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。

社会・青少年委員会 委員長:遠藤正夫 副委員長:松尾和彦

委員:橋本孝来 松原栄松 1.今年度はロータリー財団

地区補助金プロジェクトを利用する事業予定がないため、それに代わる事業の計画実施に努める。2.次年度に向けてのロータリー財団地区補助金プロジェクトを利用した事業の調整検討を行う。3.竹富小中学校にある「指田文庫」へ図書券の寄贈を行う。4.「社会・青少年奉仕」について当クラブの活性化にどうつながるかをテーマに定期的に委員会を開催する。一年間頑張っていきたいと思

いますのでよろしくお願いいたします。

国際奉仕委員会 委員長:仁開一夫 副委員長:大浜勇人

大浜一郎 佐久本達 1.国際大会 in 台北へ20名以上の参加に向けての取り組み(7月2日現在15名登録済み)国際大

会は来年の6/12に台湾で行われます。台北台同RCとは姉妹クラブですし、台東東RCとも友好クラブで長いお付き合いですので多くの方に参加をお願いいたします。6/27第一回の申込みが締切りましたが次回は12月末に締切りますのでそれまでに人数を固めておいて森田会長、東上里幹事に旅費や日程のスケジュールを出してもらおうと思っております。2.バギオ基金についての勉強会の開催。バギオはフィリピン北部のルソン島にある地名です。日本が占領していた時代に日本兵が10万人ぐらいいてそこで現地の奥さん貰ったり子供が生まれたりして日系がたくさんいたが戦争に負けた時に地下に潜っているのをカトリック系のシスター海野さんが一人づつ合

て表に出して教育資金をロータリーが出しました。今はロータリーから離れて一般財団法人になっていきますからロータリーとはあまり関わっていないかもしれませんが生い立ちからすればロータリーが作ったような世界でもありますので、その辺も勉強

していきたいと思っております。3.ロータリー財団委員会協力の

基にグローバル補助金の勉強会の開催。ロータリー財団委員長と一緒にやりたいと思

っているのはグローバル補助金についてです。グローバル補助金は日本国以外のクラブと連携

しなくてはいけないのでその辺を勉強したいと思

っています。**米山奨学委員会 委員長:今西敦之 副委員長:松田新一郎**

委員:池城貞光 新会員の皆様は米山委員会とはどういうものか

とあまり聞きおよびがないかと思いますが、ロータリー創設

期の頃、米山梅吉さんという大先輩がいらっしゃいまして、その方が何か良いことをしたいということ

でいろんな形で国際平和を願いつつ亡くなられた想いがあります。その想いを受け継いで東京RCが1952年に立案を出して、翌年から米山基金という募金活動が始まったというわけですが、現在、日本に外国人が留学している学生に奨学金として支援し日本と海外の架け橋とな

って優秀な人材を育てていこうという民間では最大の奉仕事業ではないかなと思

います。年間約15億円前後はこの事業に投資されているんじゃないかと思

います。今まで奨学生自体が2万人以上はこの米山から旅立っていると思

います。そういった流れから今年度私ども世界の架け橋となるような人材育成並びに支援というものを活動してまいりたいと思

います。しかしながら石垣は離島で大学がございません。大学は世話クラブそしてその世話クラブの中にカウンセラーというの

が付きますが、この石垣にはそういった形での活動が出来ませんので、本年度は松田委員が2580地区の方に地区委員として出向しておりますので、松田委員と連携しながら米山奨学生の招聘並びに親睦会等を取り組んでいけたらいいのではないかと考えておりますし、ロータリー財団と同じく米山というのは寄付でございます。地区目標が2万円になっておりますが、前委員長の

大浜勇人委員長の時に5千円までレベルアップをしていただきましたが更に上乗せして地区目標の1万5千円をなんとか皆さんの方でご協力して頂きたい。それ以外に個人寄付、法人寄付、遺言寄付というの

もあります。全て税遇

措置が受けられます寄付でございますのでその辺もご理解して頂きながら米山活動にご協力いただけたらと思います。本年度、一年間よろしくお願いたします。基本方針(案)米山奨学委員会では、将来の日本と世界を結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き友となる人材育成をすることが米山奨学の使命のもと、数々の優秀な人材を世に送り出しております。本年度、クラブテーマ「心機一転」の理念に米山記念奨学事業にたして、さらなる理解と協力を推進するとともに、奨学生がロータリーの良き理解者として活動できるように支援したいと考えております。活動計画(案)1.寄付金の地区目標額達成の推進。2.米山月間での卓話。3.米山奨学生の活動報告と親睦会4.地区米山記念奨学委員会への参加協力5.ロータリー財団委員会と寄付金推進のための合同委員会6.60周年記念事業の参加協力7.会員増強の協力

ロータリー財団 委員長:南波正幸 副委員長:新城永一郎 委員:宮城隆 金城力 1.ポール・ハリス・フェロー クラブ認証措置クレジットを活用し最低3名の認証者を目標とする。2.ロータリー財団への寄付を地区目標 230 ドル寄付者 30%とする。クラブ会費からの寄付は 100 ドルとなっておりますので、残り 130 ドルを皆様の寄付をお願いしたいと思います。いろんな委員会からロータリー財団で地区補助金やグローバル補助金とかのお話がありましたので、その財源としてはロータリー財団から出ていますので是非とも寄付を多く頂いて補助金を活用していきたいと思っております。3.次年度に向けての地区補助金を活用したプロジェクトを申請する。4.次次年度の地区補助金申請・活用についての勉強会。

危機管理委員会 委員長:橋本孝来 副委員長:大田次男 委員:黒島剛 吉田貴紀 【目的】ロータリークラブは紛争、

経済危機、自然災害、感染症など様々な危機に見舞われながらも会員らの努力によって活動を継続、発展してきた社会に不可欠な団体である。当委員会は石垣ロータリークラブの活動を安心で、継続的に行うために必要な提言を理事会に行う。【新型コロナウイルス感染症について】感染の世界的流行下にある現在、ロータリークラブが感染のクラスターになることはクラブの存在目的に反するばかりか、国際ロータリー全体が受けるダメージは計り知れません。クラブの活動の継続性や相互交流による発展を促進する一方で、限界があるものの衛生上の一定の担保が必要であります。また、石垣島の医療資源にも考慮する必要があります。2020年7月1日の理事会において新型コロナウイルス感染症に関する当クラブの原則を以下とされました。・例会の参加前に体温チェック、問診票の記入を行い、参加の是非の判断を会長の承認を受ける。・国外、関東地域、関西地域からのメークアップをご遠慮いただく。・国外、関東、関西地区へ会員が出かけた場合、帰島して7日間は例会出席を見合わせる。・国外、関東、関西地区から帰省した同居する家族がいる場合も7日間は例会出席を見合わせる。上記は必要に応じて理事会で変更されます。こちらはSlackにも掲示いたしますので出張の際にはぜひご参照ください。

【決算報告】大田次男前幹事:収入の部 11,437,814 円 支出の部 11,260,912 特別会計繰入金 1,800,000 剰余金 176,902

【監査報告】前原博一:本日 11:30 から監査を行いました。監査意見、私達は、2019年7月1日～2020年度6月30日までのロータリー年度(石垣ロータリークラブ第59期)における一般会計の監査を行ない、適正に処理されており、財産および収支状況を正しく示していることに相違ないことを認めます。以上のとおり報告いたします。

～例会風景～



本日のニコニコ

- ☆森田安高氏:各委員長さん!!よろしくお願いたします。
- ☆橋本孝来氏:今年の暑さはとりわけきびしいように思います。体調管理にお互い気をつかいましょ。
- ☆今西敦之氏:九州、北陸大豪雨で被害にあわれた方にお見舞い申し上げます。
- ☆轟一盛様(那覇東 RC):本日もよろしくお願いたします。



◆BOX¥4,000 (累計¥16,000)◆コイン¥2,571(累計¥6,076)合計 ¥22,076

東上里和広氏 ◆60周年記念基金 ¥1,000 累計¥4,000



櫻井 浩一氏 5日(金) 我那覇 宗善氏 21日(火) 松林 豊氏 25日(土)

